

## 令和元年度 JERT 主催「救急撮影講習会 in 石川」参加報告記

石川県立中央病院 庄田佳織

令和元年 8 月 25 日、石川県立中央病院で開催された「救急撮影講習会 in 石川 ～北陸の夏に救急の風を～」を受講しました。

救急に携わる技師の役割と救急撮影技術について、外傷の一般撮影の撮り方や骨盤レントゲンの見方、救急時に多い CT の撮り方と症例ごとの画像のポイントを講演していただきました。とくに Primary survey で撮影する胸部 Xp・骨盤 Xp の見方や CT 画像のポイントを拝聴して、普段もっと意識して画像を見なくてはいけないことや画像の症例も勉強しなくてはいけないと思いました。

また救急医の南先生からは外傷初期診療について講演していただきました。救急隊から連絡を受けてからの救急外来の準備・対応、Primary survey の胸部 Xp・骨盤 Xp が撮られるタイミングがどういふ状況なのか、Secondary survey の CT が来るまでに何が行われているのかなど知らないことがたくさんありました。検査のことだけではなく、患者さんの状態や救急外来などの状況にも気を配りながら業務をしていけたらと思いました。

私自身の勤める病院は 3 次救急医療機関であり、夜間は技師 1 人で救急の対応を行っています。数年当直で救急対応を経験していても今でも対応に悩むこともあります。今回の講習会は既に経験を積んでいる技師、これから当直・夜勤に入って救急を対応していく技師にとっても不安を取り除き、少しでも自信をもって対応していくきっかけになったと思います。一般撮影でも CT でもまず最初に画像を目にするのは撮影している技師であり、少しでもいいものを提供できる技師になれるよう精進していきたいです。また夜間はスタッフが不足しているので、救急医、看護師、救急に携わるスタッフが知識や情報を共有し協力していけたらいいと思いました。

今回の講習会で救急撮影に興味を持った人も多いと思うので、今後も北陸でこのような救急撮影講習会などが開催されることを願っています。

最後にこのような貴重な講習会を開催してくださった機構の方々、会場の準備・設営のスタッフの方々に心より感謝申し上げます。

令和元年 8 月 吉日

